

実務経験のある教員等による授業科目一覧

(商業実務分野専門課程 動物看護学科) 2020年度			授業科目概要	配当 年次・学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員			企 業 等 と の 連 携	
分類	必修	自由 選択					授業科目名	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		実 務 経 験
○			動物形態機能学Ⅰ	動物の生命維持の基礎と仕組みを理解し、内科学及び外科学の正しい知識を身に付ける	1年後期	30	2	○		○		○				
○			動物行動学Ⅰ(大学)	犬の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する	1年前期	30	2	○		○		○				
○			動物臨床栄養学Ⅰ	犬猫の健康維持における必要な栄養素について学ぶ	1年前期	30	2	○		○		○				
○			動物医療関連法規(動物飼養管理)	「動物の愛護及び管理に関する法律」の趣旨に基づき、愛玩動物の飼養管理に関する基本的な知識を高め動物愛護や人と動物の共生を理解する。	1年全期	30	2	○		○		○				
○			公衆衛生学Ⅰ	人間と動物が共生するうえで大切である衛生管理や、感染症の予防に必要な消毒薬や消毒法を理解する	1年前期	30	2	○		○		○				
○			動物人間関係学(AAA・AAT概論)	人と動物の絆(HAB)の理念と動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育など社会活動を理解し人と動物の共生に寄与する	1年前期	30	2	○		○		○				
○			ビジネスマナー学Ⅰ	基本的なマナーを習得し、実務で活かせるようにする	1年前期	30	2	○		○		○		○		
○			動物行動学Ⅱ(猫学)	猫の起源、特徴や様々な猫種を学ぶ	2年後期	30	2	○		○		○				
○			飼養管理学(動物飼養管理学Ⅱ)	動物の飼養管理に関する基本的事項を再認識しながら、1級でさらに専門的知識を高めると同時に動物愛護や人と動物の共生などの活動を担う知識と理解を深める	2年全期	30	2	○		○		○				
○			ビジネスマナー学Ⅱ	問題解決能力を高め能動的に仕事に向き合う力を手に入れる	2年前期	30	2	○		○		○		○		
○			手話学	聴覚障がい者とのコミュニケーション手段の手話の技術を修得することおよび聴覚障がい者福祉の理解促進を図る	2年前期	20	1	○		○		○				
○			動物繁殖学	犬・猫の雌雄の生殖器の構造や機能について学習する。また、性行動及び発情・交尾・分娩の過程を学び、ブリーディング産褥期の母体看護の理解を深める	2年後期	30	2	○		○		○				
○			動物形態機能学Ⅱ	動物の体の基本的な構造と働きを理解する。イメージを持ちながら理解する	1年全期	60	4	○		○		○				
○			動物臨床栄養学Ⅱ	それぞれの疾患別の栄養学的管理ができるよう、療法食の特性を理解する	1年後期	30	2	○		○		○				
○			公衆衛生学Ⅱ	人獣共通感染症を正しく理解する。公衆衛生学を十分に理解し正しい衛生指導ができるよう理解する	1年後期	30	2	○		○		○				
○			動物内科看護学(トリミング学Ⅰ)	トリミングの目的や必要性を理解し、トリミング実習につなげる	1年前期	30	2	○		○		○				
○			動物外科看護学Ⅰ	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを理解し、手術の実施に必要な知識を習得する	1年前期	30	2	○		○		○				
○			動物感染症学	感染症を引き起こす病原体の特徴、感染経路等について学び、その予防・拡大防止について理解する	1年全期	90	6	○		○		○				
○			野生動物学	様々な野生動物の特性と、人との関わりを理解する	1年後期	30	2	○		○		○				
○			動物看護学概論Ⅰ	動物看護師として必要な基本的知識を学ぶ	1年前期	30	2	○		○		○				
○			動物看護学概論Ⅱ	診療の補助行為をはじめとする、種々の動物医療関係者に携わる者として看護師に求められる看護の基礎を学ぶ	1年前期	30	2	○		○		○				
○			動物臨床看護学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごと個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を習得する	1年後期	30	2	○		○		○				
○			動物臨床検査学	動物病院で行われている検査の目的と基本的な手法を理解する	1年全期	60	4	○		○		○				
○			動物医療コミュニケーション	飼い主様からの信頼を得るための身だしなみに重要性を理解し、言葉遣いや話し方、表情、立ち振る舞いを実践を通じて学ぶ	1年後期	30	2	○		○		○				
○			動物形態機能学実習Ⅰ	携帯機能学で習ったことを復習し、模型・標本を使用しながら理解していく	1年前期	30	1	○		○		○				
○			動物内科看護学実習Ⅰ(トリミング基礎実習)	トリミングの基礎を身に付ける。	1年後期	30	1	○		○		○				
○			動物臨床検査学実習Ⅰ	動物病院で行われている検査の基本的な手法、動物・検体の取り扱い、片付け方を習得する	1年前期	45	1	○		○		○				
○			動物外科看護実習Ⅰ	外科手術を補助する上で、必要な技術を習得する。麻酔下の看護動物の状態を把握できるように、正常・異常の理解を深める	1年前期	45	1	○		○		○				
○			動物臨床看護学実習	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する	1年後期	45	1	○		○		○				
○			トリミング基礎実習	トリミングの基礎を身に付ける	1年全期	180	6	○		○		○				
○			動物形態機能学Ⅲ	動物の体の基本的な構造と働きを理解する。イメージを持ちながら理解する	2年前期	30	2	○		○		○				
○			動物病理学	病気の原因、発生機序を理解する。様々な組織変化と病気の関係を理解する	2年前期	30	2	○		○		○				
○			動物形態機能学実習Ⅱ	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、腫瘍臓器の組織象などを通じて学ぶ	2年後期	30	1	○		○		○				
○			動物臨床検査学実習Ⅱ	動物病院で行われている検査の基本的な手法、動物・検体の取り扱い、片付け方を習得する	2年後期	45	1	○		○		○				
○			動物外科看護実習Ⅱ	動物看護のフィールドでの最低限の外科基礎、外科技術の習得	2年後期	45	1	○		○		○				
○			動物薬理学	治療や診断に用いられる薬物が動物の体内でどのように作用しているかを学び、薬用量の計算方法、投与禁止の動物種を理解し、薬物の取り扱い保存方法を学ぶ	2年全期	60	4	○		○		○				
○			動物臨床看護学各論Ⅰ	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ	2年全期	60	4	○		○		○				
○			動物臨床看護学各論Ⅱ	病気・看護の基本を理解し、傷病動物を前にして行うべきことを学ぶ	2年全期	60	4	○		○		○				
○			伴侶動物学	伴侶動物の歴史や品種、飼育管理法およびエキゾチック動物の生態について学ぶ	2年後期	30	2	○		○		○				
○			産業動物学・実験動物学	産業動物の歴史や品種、その動物の特徴、人との関わりを理解するとともに、実験動物の役割を理解し、歴史や動物種、飼育環境を学ぶ	2年前期	60	4	○		○		○				
○			動物福祉論	動物愛護や動物福祉、およびその基礎となる生命倫理に考え方について学ぶ	2年後期	30	2	○		○		○				
○			動物外科看護学Ⅱ(救急救命対応)	緊急時、救命時における対応方法と看護師としての役割を学ぶ。手技を実践できるように使用法を習得する。	2年後期	30	2	○		○		○				
○			動物内科看護学実習Ⅱ(トリミング応用実習)	老犬のトリミングを身に付ける	2年前期	60	1	○		○		○				
○			トリミング応用実習	トリミングの基礎を身に付ける。ペットクリップを身に付ける	2年全期	180	7	○		○		○				
○			統一試験対策講座	2年間の総まとめを行い、動物看護師統一認定試験合格を目指す。	2年後期	30	2	○		○		○				
合計					30科目	1985単位時間(105単位)										
卒業要件及び履修方法										授業期間等						
卒業要件:全単位取得 履修方法:各授業時数の2/3以上出席										1学年の学期区分		前・後期				
										1学期の授業期間		15週				